

Blank lined writing area for notes.

avassau



かわさき区の宝物 ポップアップカード

## かわさき区の宝物 ペーパークラフト

# 「多摩川を渡る川崎区の鉄道」

川崎区と鉄道のゆかりは深く、古くは新橋～横浜間に開通した日本最初の鉄道まで遡ります。当時の浮世絵には、六郷川(現 多摩川)に架けられた橋を渡る汽車が描かれています。

そして、現在の川崎市では、「川崎駅から羽田空港や東京駅まで、わずか十数分!」、「市域面積あたりの鉄道駅数が、政令指定都市中で第2位!」と市内はもちろん、国内外への抜群の交通アクセスが大きな魅力となっています。区内にも、多くの鉄道駅があり、区民や企業の交通を支えています。

### JR京浜東北線

1914年(大正3年)12月の東京駅開業と同時に運転を開始した、東京の中心部を南北に縦断する縦貫線。  
東海道本線・東北本線・根岸線を合わせた総称で、川崎駅は東京駅～横浜駅間を結ぶ東海道本線の一部に位置する。

### JR東海道本線

新橋～横浜間に日本最初の鉄道として1872年(明治5年)に開通。その後路線を延長し、現在は東京から名古屋や大阪などの各都市を経て、神戸までを結ぶ大路線となっている。特に貨物輸送に関しては日本の大動脈として、活躍している。

### 京急本線

1899年(明治32年)前身である大師電気鉄道が運転を開始。泉岳寺・品川駅から横浜・横須賀を經由し、浦賀駅までを結ぶ路線。  
現在は、都営線・京成線・北総線との直通運転により、羽田空港・成田空港と2空港を連絡しており、川崎の空へのアクセスを支えている。



## ～浮世絵に描かれた川崎と鉄道～

川崎市立中原図書館所蔵

### 「東京横浜名所一覽図絵六郷のわたし」

表紙

絵師：三代広重 制作：明治4年(1871年)

### 「六郷川蒸気車往返之全図」

背景

絵師：三代広重 制作：明治4年(1871年)

## ～浮世絵に描かれた明治の人々～

神奈川県立図書館所蔵

### 「横濱波止場ヨリ海岸通異人館之真圖」

人物パーツ

絵師：三代広重 制作：明治初期

企画：川崎区企業市民交流事業推進委員会

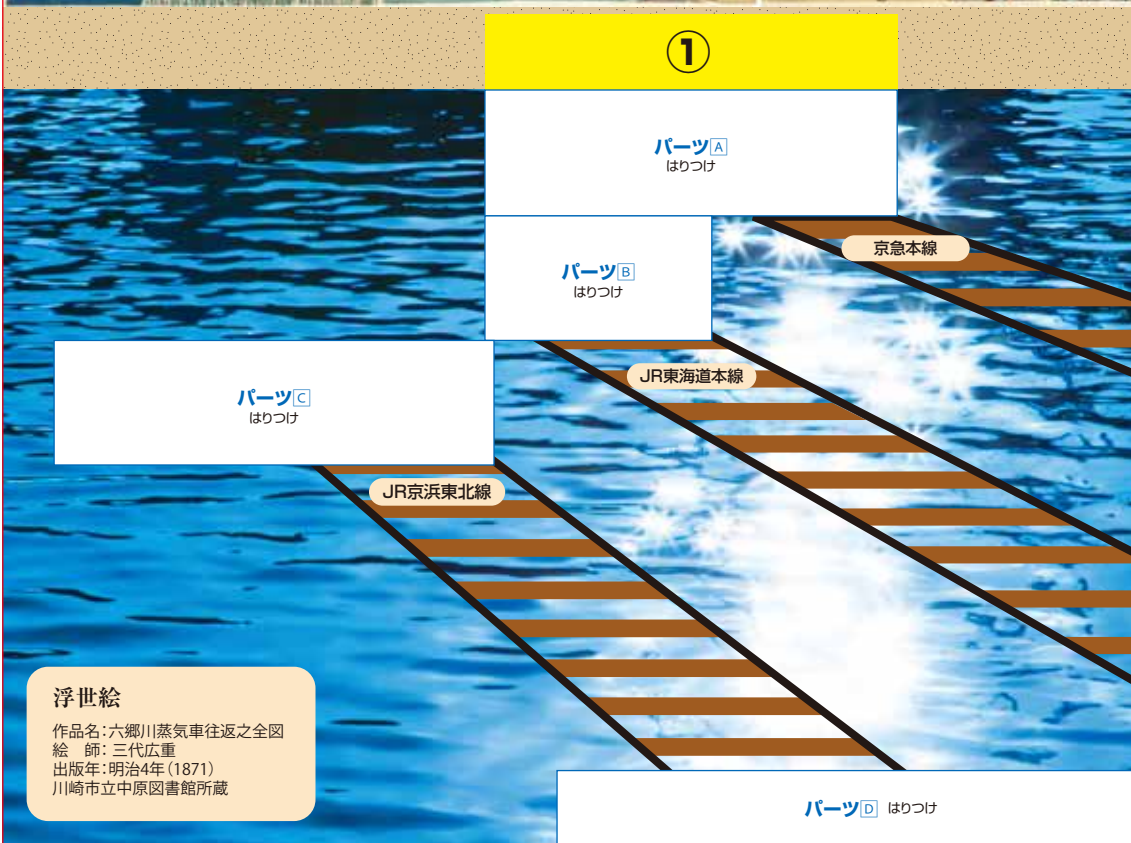
写真提供：東日本旅客鉄道株式会社横浜支社・京浜急行電鉄株式会社

資料提供：川崎市立中原図書館・神奈川県立図書館

発行：川崎市川崎区役所

問い合わせ：川崎区役所地域振興課 電話 044-201-3127 FAX 044-201-3209

# 多摩川を渡る川崎区の鉄道



## 浮世絵

作品名: 六郷川蒸気車往返之全図  
 絵師: 三代広重  
 出版年: 明治4年(1871)  
 川崎市立中原図書館所蔵

↑赤い輪郭は切り取り線です

←谷折り

↑カード中面

## ■作り方の手順

- ①台紙⑥からそれぞれのパーツを切り離してください。  
赤い細線が切取線です。  
👉 すべてを切り出したら、はりつける前に定規などで、かるく折り目をなぞっておくと、スムーズに折りやすくて便利です。
- ②〈カード中面〉に書いてある記号のパーツと、切り取った対応するパーツをそれぞれはりつけてください。
- ③すべてはりつけが済んだら、カードを2つに折り、平らに置いて接着面が乾くのを待ちましょう。  
乾いたらゆっくりと90度を開き、パーツが立ち上がるのを確認してください。これで完成です。

## ■知っておくと便利 美しく仕上げるポイント

- ハサミだけでも作れますが、より丁寧に仕上げる場合は、直線部分はカッターを、曲線部分はハサミを使用すると切りやすいです。長い直線は定規をあてると正確に仕上げることができます。
- 印刷された絵柄は表面がデリケートなので、強くこすったり、引っかいたりすると跡が残ってしまいます。
- 接着剤は「紙工作」に適したものを使用してください。
- 接着剤を塗る際には、次のことに注意するとよいでしょう。
  - ①指先に接着剤を付けずに作業する
  - ②塗るべき場所からはみ出さない
  - ③塗る量が多くならないように「少なめ」を意識する



ハサミやカッターを使用する際は誤って手などを切らないよう充分にご注意ください。



# パーツの作り方



- ①赤線に沿って切り取る
- ②点線部で山折りする
- ③【のりづけ】面にのりをつける
- ④【のりづけ】面Aを下図のように貼り付ける
- ⑤【のりづけ】面Bを台紙②に貼り付ける
- ⑥黄色の【のりづけ】面をそれぞれの番号の箇所に貼り付ける

